

令和4年5月6日
石川県選挙管理委員会
(内線 3548)
(外線 076-225-1282)

新有権者のメッセージ募集について

石川県選挙管理委員会及び石川県明るい選挙推進協議会では、明るい選挙推進事業の一環として、昨年に引き続き高校生を対象に、「初めての投票」をテーマにした新有権者のメッセージを募集します。

締め切りは令和4年9月9日（金）、応募方法は別添チラシのとおりです。

応募先（お問い合わせ先）

石川県選挙管理委員会事務局 （076-225-1282）

令和3年度の優秀作品は次のとおりです！



テーマは「初めての投票」だよ。
「初めての投票」について、自分の意見や考えや伝えたいことなどを
メッセージにして、応募しよう！

石川県選挙管理委員会委員長賞

テレビ等の取材で今の社会に不満を抱えている若者をよくみかける。だがしかし全員がその抱え込んだ不満を選挙によって発信しているわけではない。選挙権というのはいわば私達1人1人の声であり、皆が投票に行かなければその声も届かない。たかが1票、されど1票。自分の持つ1票で何かが変わるかもしれないと考え、投票に行きたいと思う。

石川県立七尾高等学校 1年 春木 美咲

石川県明るい選挙推進協議会会長賞

僕は中学生の時に、校内の模擬選挙を経験しました。そこで選挙に対する様々な工夫をしていることを知りました。開票しやすいように投票用紙を工夫しているということを知っています。そして、僕達が選挙に行きやすい環境も作られていると思います。これからは、毎日、世の中の出来事に関心を向け、選挙における一人の価値を考えていきたいです。

石川県立七尾高等学校 1年 吉田 陽紀

～優秀賞～

選挙とは、人々の時間を奪うものではなく、人々のより良い時間を作るものだと思います。面倒だから、よく分からないから選挙に行かない、ではなくこれからの私たちの長そうで短い時間をより充実したものにするために、ひとりひとりが意見や考えを持って1票を入れることが大切だと思います。私も責任持って1票を入れるよう心がけたいと思います。

石川県立七尾高等学校 1年 上岸 美春

今まであまり関係ないと思っていた選挙。しかし高校生になって、18歳に近づいてきて興味を持つようになり、政府の考えに賛成したり反対したりすることが多くなった気がします。人それぞれ考えはちがうと思います。周りの意見に自分の意見を合わせる必要はありません。だから私が18歳になったら自分の意見に正直になって投票しに行きたいです。

石川県立田鶴浜高等学校 1年 谷保 はるき

今までは、他人事のように思っていた選挙が18歳になり自分も新有権者になりました。これからは私の、私たちの一票で社会が変わっていきます。私の一票ぐらい無くても変わらないだろう、ではなく大切な一票だと思って選挙へ行こうと思います。自分の意見を投票という形で社会へ伝え、よりよい社会を作り上げていきたいです。

石川県立寺井高等学校 3年 柿澤 歩未

私は幼い頃に親と一緒に選挙の会場に行ったことがあります。その場所に自分が行くと思うと少し緊張します。国や地域をより良くするために自分でその代表を決める権利があるのはとてもすごいと思います。自分の意見を投票という形で表現出来るので、私は積極的に参加をしていきたいです。自分の一票に責任をもっていきたいです。

石川県立小松商業高等学校 3年 新谷 芽生